

科目名	人体構造機能論 2							年度	2024	
英語科目名	Human Anatomy 2							学期	後期	
学科・学年	医療事務科 1 年次		必修	必	時間数	45	単位数	3	種別※	講義
担当教員	宇南山伸		教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】										
人の身体を構成している体液・血液、循環器系、呼吸器系、消化器系、非尿器系、内分泌・生殖器系、筋肉、神経系、感覚器系についての生理機能、各器官の機能と役割、これを構成する「細胞」や「分子」のはたらきに基づいて理解し、各器官系の正常な働きの仕組みを理解できることを目的とする。										
【科目の概要】										
人体の基本的仕組み（解剖学、組織学）、働き（生理学）を学びます。										
【到達目標】										
A 消化器の構造と機能が理解できる B 泌尿器系の構造と機能が理解できる C 上肢・下肢の骨と筋肉が理解できる										
【授業の注意点】										
人の身体の仕組みを理解するには、まず、どこに何があり、どんな動きをしているかを知るところからである。授業の中では図も交えながら、部位の名前、機能を説明する。 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状態により内容が前後する場合がある。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	消化器の構造と機能について理解でき、他者を指導できる	消化器の構造と機能について理解でき、他者を説明ができる	消化器の構造と機能について理解できてる	消化器の構造と機能について知っている	消化器の構造と機能について知っていない					
到達目標 B	泌尿器の構造と機能について理解でき、他者を指導できる	泌尿器の構造と機能について理解でき、他者を説明ができる	泌尿器の構造と機能について理解できてる	泌尿器の構造と機能について知っている	泌尿器の構造と機能について知っていない					
到達目標 C	上肢・下肢の骨と筋肉の構造と機能について理解でき、他者を指導できる	上肢・下肢の骨と筋肉の構造と機能について理解でき、他者を説明ができる	上肢・下肢の骨と筋肉の構造と機能について理解できてる	上肢・下肢の骨と筋肉の構造と機能について知っている	上肢・下肢の骨と筋肉の構造と機能について知っていない					
【教科書】										
病気の地図帳/講談社、からだの地図帳/講談社										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
課題、小テスト、試験等を含めて総合的に評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		人体構造機能論 2			年度	2024
英語表記		Human Anatomy 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	人体	消化器	1 食道	食道について理解できる	1	
5	人体	消化器	1 胃	胃について理解できる	1	
3	人体	消化器	1 十二指腸	十二指腸について理解できる	1	
4	人体	消化器	1 小腸	小腸について理解できる	1	
5	人体	消化器	1 大腸	大腸について理解できる	1	
6	人体	消化器	1 肝臓	肝臓について理解できる	1	
7	人体	消化器	1 肝臓	肝臓について理解できる	1	
8	人体	消化器	1 脾臓	脾臓について理解できる	1	
9	人体	消化器	1 腹膜	腹膜について理解できる	1	
10	人体	消化器	1 腎臓	腎臓について理解できる	1	
11	人体	泌尿器	1 膀胱	膀胱について理解できる	1	
12	人体	泌尿器	1 生殖器系	生殖器系について理解できる	1	
13	人体	上肢・下肢の骨と筋肉	1 上肢の骨と筋肉	上肢の骨と筋肉について理解できる	1	
14	人体	上肢・下肢の骨と筋肉	1 下肢の骨と筋肉	下肢の骨と筋肉について理解できる	1	
15	人体	まとめ	1 まとめ	まとめについて理解できる	1	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等